

V 地域の自然や社会とのかかわり

内 容		評価
1、地域の自然・人々とかかわり		
①	地域の人々と親しくあいさつや会話を交わしている	B
②	地域の自然や機関を指導計画の中で位置づけて活用している	B
③	子どもの医療や保健に関する問題および地域の住民から受けた子育て相談の内容について、相談および連絡先を把握している	A
④	実習生を受け入れるときは、意義や方針を理解し、指導的立場で接している	/
⑤	中高生の保育体験、ボランティアを受け入れるときは、その目的や意義を理解・確認している	/
2、小学校との連携		
①	園の保育内容が小学校以降の生活や学習の基盤の育成につながることを理解している	A
②	小学校の教育内容について理解するよう努めている	B
③	小学生が遊びにくることの出来る場（バザーや行事等を含む）を設けている	B
④	卒業した子どもの情報を得るよう努めている	/
⑤	小学校が、園での子どもの育ち等について、どのような情報を必要としているか理解するよう努めている	B
3、地域の特徴を生かした保育の展開		
①	スキー教室・畑で収穫した野菜で料理教室など、地域の気候を生かした保育を実践している	A
②	高齢者との交流のために、データベース交流・行事への参加の呼びかけなど積極的に行っている	B
4、地域の自然や社会とかかわりでよく出来ていると思ったこと		具体的な例
農業体験で、地元の農業の専門家に教えてもらいながら、カブとジャガイモを植え、収穫できた		
5、地域の自然や社会とかかわりでこれからの課題と思ったこと		具体的な例

- A よくできている
- B まあまあできている
- C あまりできていない
- D まったくできていない